

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師 介護教員 医療的ケア教員			
《授業科目における学習内容》						
前期;初級障がい者スポーツ指導員 取得の講義とする。後期;ボランティア活動(認知症カフェ・介護予防体操等)						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本 初級・中級 (公財)日本障がい者スポーツ協会(編) 参考;むかしこっぶり(吉備人出版)						
《授業外における学習方法》						
障がい者スポーツ・障がい者施設のボランティア等の活動をする。居住区の地域活動を調べ介護福祉の関わりを知ることができる。						
《履修に当たっての留意点》						
授業科目である障害の理解・を熟読とする。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視 点を学ぶ。			
		各コマに おける 授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質①			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視 点を学ぶ。			
		各コマに おける 授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質②			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	障がい者スポーツの意義と理念①			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	障がい者スポーツの意義と理念②			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ大会の目的、意義について学べる。			
		各コマに おける 授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域のスポーツ振興を進めていくことができるように、実施競技を知る。		
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導者に求められるコミュニケーションスキルを身につけていく。		
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人前で話すこと、相手の意見を傾聴することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者福祉施策とその変換を学べる。		
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツに関する施策を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学べる。		
		各コマにおける授業予定	安全管理		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	資格取得後の活動、情報入手方法を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの推進の取り組み		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流 (障がい者施設 みすず荘にて体験)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流 (障がい者施設 みすず荘にて体験)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツについての理解を深めていく。		
		各コマにおける授業予定	障がい者施設のふれあい体験の振り返り・今までのまとめ		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師 介護教員 医療的ケア教員			
《授業科目における学習内容》						
前期;初級障がい者スポーツ指導員 取得の講義とする。後期;ボランティア活動(認知症カフェ・介護予防体操等)						
《成績評価の方法と基準》						
レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本 初級・中級 (公財)日本障がい者スポーツ協会(編) 参考;むかしこっぶり(吉備人出版)						
《授業外における学習方法》						
障がい者スポーツ・障がい者施設のボランティア等の活動をする。居住区の地域活動を調べ介護福祉の関わりを知ることができる。						
《履修に当たっての留意点》						
授業科目である障害の理解・を熟読とする。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	前期の振り返り	配布プリント		
		各コマに おける 授業予定	地域活動について			
第 17 回	講 義 実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動①			
第 18 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動②			
第 19 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動③			
第 20 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動④			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑤		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑥		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑦		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑧		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑨		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑩		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動を知ることができる。		
		各コマにおける授業予定	活動をまとめる。		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動を知ることができる。		
		各コマにおける授業予定	活動をまとめる。		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	活動を理解し、介護福祉職の関わり方を学ぶことができる。		
		各コマにおける授業予定	活動をまとめる。		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの振り返り		
		各コマにおける授業予定	まとめ 課題レポート		